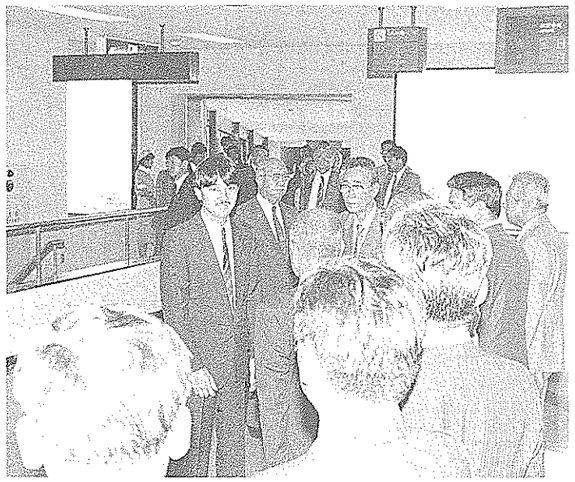
礼宮さま来高

トンボ自然公園開園記念式典にご出席

「トンボ自然公園開園記念式典」にご出席のため、礼宮さまが七月五日に来高されました。

正午過ぎに高知空港に到着した礼宮さまは、出迎えの中内知事や小笠原市長らににこやかにあいさつ。「背がお高いですねえ」とため息をついていました。

礼宮さまはトンボ自然公園開演記念式典へのご出席や四万十川の遊覧などの日程を終えられた後、七日の午後離高されました。



にこやかに出迎えの知事らにあいさつする礼宮さま

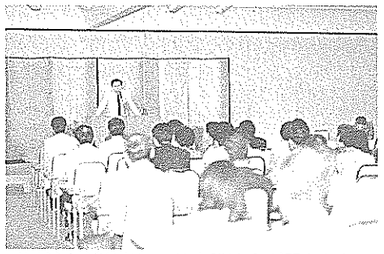
行政・地域・家庭の連携を考える

○教育講演会○

教育講演会が六月二十五日に市内の結婚式場で、市民や教師約百人が出席して開かれました。

これは、行政にとってはもちろん、市民一人一人にとっても日常的な課題である教育問題を考えようと南国市教育委員会が主催して南国ライオンズクラブの後援で行われたものです。

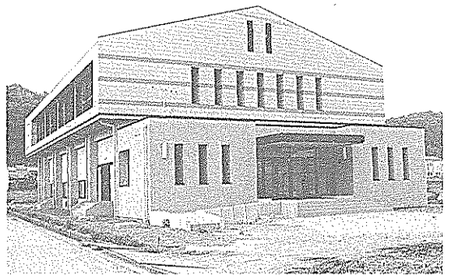
NHK解説委員の野原明氏が「社会の変化とこれからの教育」と題して講演。南に紐を着せぬ教育論に参加者は聞き入っていました。



約100人が出席して教育講演会が開かれた

西部体育館が落成

八月から利用開始の予定



西部体育館

西部体育館の新築工事がこのほど完了し、七月二日に落成式が行われました。

西部体育館は、地元で初めての体育施設として待ち望まれていたもので、大蔵省資金運用部資金年金積立金の融資を受けて昨年十二月に工事を開始六月二十八日に長岡西部の都市計画街路南国山田線沿いに完成しました。

鉄筋コンクリート平屋建て、延べ床面積六二二・二四平方㍍、ホール、ミーティング室、トレーニング室などを備えており、工事費は九千三百三十七万円です。ホールの面積は三九四平方㍍で、バレーボールやバドミントン、卓球、スカッシュバレーなどに利用できます。

落成式には市や地元の関係者など約四十人が出席して完成を祝いました。

なお、整地やフェンスの整備などが七月いっぱい行われ、八月から利用を始める予定です。

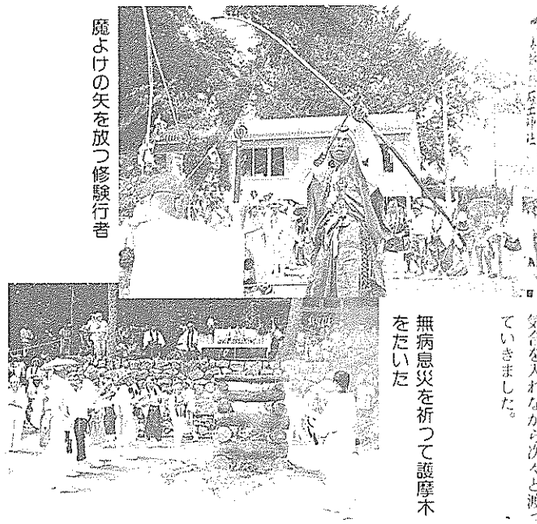
暑さを吹き飛ばし勇ましく火渡り

十市石土神社大祭

十市石土神社の大祭が七月一日から十日まで開かれ、六日には無病息災を願う大護摩祈願祭が盛大に繰り広げられました。

この大護摩祈願祭には、県内各地から集まった修験行者と地元の信者ら二百人余りが参加。まず、清めの修法などを行った後、護摩段に点火。修験行者が無病息災を祈りながら、燃え上がる炎の中に数千枚の護摩木を投げ込みました。

最後は護摩の焼けた跡をはだしで歩く火渡りの儀式。まだ赤々としている炭火の中を修験行者が渡り初めをし、続いて信者らが気合を入れながら次々と渡っていきました。



魔よけの矢を放つ修験行者

無病息災を祈つて護摩木をたいた

国分川にホタルを増やそう

黒滝から200匹を移植

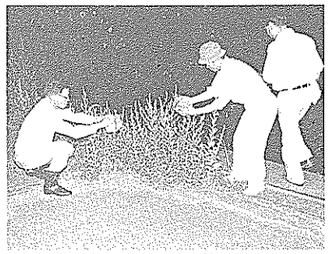
黒滝でホタルを捕獲

国分川にほたるを増やそうと「みんなでほたるを守りましょう会」（笠原清一会長）の会員ら十人が七月五日に黒滝から国分川にホタルを移植しました。

「みんなでほたるを守りましょう会」は、業者の乱獲などでホタルが減り、目にする機会が少なくなったことから乱獲を防止するとともに増殖を図り、市民に情緒と安らぎをもたらそうと市内のホタルの生息地をパトロールするなどの活動をしています。昨年、ホタルを増やす場所を国分川の国分橋から岡豊橋の間と決め、ホタルのえさのニナ貝を春野町で捕獲し放流、黒滝の人々の合意を得てこのたびの移植となったものです。

穴内川の上流など数箇所で網とかごを手に約二百匹のホタルを捕獲し、去年ニナ貝を放流した国分橋のすぐ下流に移植。かごから出たホタルは会員たちが見守るなか、淡い光を放ちながら川辺の草むらへと消えていきました。

また、黒滝に前回調査に来たときと比べてホタルの数が減っているのを不審に思っていたところ、ホタル業者がホタルを捕っているのを発見。住民の話によると市長の許可を得て研究のために捕っていると偽って数日前から来ているということで、本人も認めたため、車のナンバーを控え、早速警察に通報。地区の人々にもホタル業者を見かけたら市に連絡するなどの協力を要請しました。



国分川にホタルを放す会員

選挙管理委員会事務局長が逝去

南国市選挙管理委員会事務局長大崎龍三氏（五十二歳）が、病気療養中のところ七月五日逝去されました。

故大崎氏は昭和三十六年から南国市役所に勤務。都市計画課課長補佐、保健課課長補佐を経て今年四月から選挙管理委員会事務局長として活躍されていました。

ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。